

10/523508
Rec'd PCT/PTO 04 FEB 2005

PCT/JP 03/09766

31.07.03

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

REC'D 19 SEP 2003

WIPO PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年 8月 6日

出願番号
Application Number: 特願2002-228201
[ST. 10/C]: [JP 2002-228201]

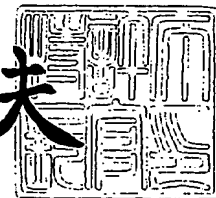
出願人
Applicant(s): TDK株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 9月 4日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3072260

BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願

【整理番号】 99P04300

【提出日】 平成14年 8月 6日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都中央区日本橋一丁目 1 3 番 1 号 ティーディーケ
イ株式会社内

【氏名】 山口 直哉

【発明者】

【住所又は居所】 東京都中央区日本橋一丁目 1 3 番 1 号 ティーディーケ
イ株式会社内

【氏名】 五嶋 健二

【特許出願人】

【識別番号】 000003067

【氏名又は名称】 ティーディーケイ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100078031

【氏名又は名称】 大石 皓一

【選任した代理人】

【識別番号】 100115738

【氏名又は名称】 鷲頭 光宏

【選任した代理人】

【識別番号】 501481791

【氏名又は名称】 緒方 和文

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 074148

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ウェブページのアップロードシステム、コンピュータプログラムおよび記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウェブページのアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムであって、前記クライアントが、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所をアップロード先として記憶する機能を備えたことを特徴とするウェブページのアップロードシステム。

【請求項 2】

ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムであって、前記クライアントが、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、ウェブページ編集用ソフトウェアツールが起動されたとき、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を備えたことを特徴とするウェブページのアップロードシステム。

【請求項 3】

前記クライアントが、閲覧されているウェブページのデータを取得する機能を備え、当該ウェブページを前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集させることを特徴とする請求項 2 に記載のウェブページのアップロードシステム。

【請求項 4】

ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムであって、

前記クライアントが、

前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、当該ウェブページ上に設けられたリンク手段が選択されたとき、ウェブページ編集用ソフトウェアツールを起動する機能と、

かつ前記リンク手段のリンク先となるウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を備えたことを特徴とするウェブページのアップロードシステム。

【請求項 5】

前記クライアントが、

前記リンク先のウェブページのデータを取得する機能を備え、当該ウェブページを前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集させることを特徴とする請求項 4 に記載のウェブページのアップロードシステム。

【請求項 6】

前記ウェブサーバが、

各ユーザについてウェブページの編集権限が登録されたリストを備え、

前記リンク手段が、前記編集権限のあるウェブページにリンクされるリンク手段のみからなることを特徴とする請求項 4 または 5 に記載のウェブページのアップロードシステム。

【請求項 7】

前記クライアントが、

前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって前記ウェブページの編集が開始された後であってアップロードされる前に、当該ウェブページをテンポラリファイルとして前記ウェブサーバ上の場所に保存する機能を備えたことを特徴

とする請求項 2 ないし 6 に記載のウェブページのアップロードシステム。

【請求項 8】

ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、
前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、ウェブページ編集用ソフトウェアツールが起動されたとき、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所を記憶させる機能と、
前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 9】

ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、
前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、当該ウェブページ上に設けられたリンク手段が選択されたとき、ウェブページ編集用ソフトウェアツールを起動する機能と、
かつ前記リンク手段のリンク先となるウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、
前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 10】

ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、

前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、ウェブページ編集用ソフトウェアツールが起動されたとき、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所を記憶させる機能と、

前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させるためのコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項 11】

ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、

前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、当該ウェブページ上に設けられたリンク手段が選択されたとき、ウェブページ編集用ソフトウェアツールを起動する機能と、

かつ前記リンク手段のリンク先となるウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させるためのコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読取可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ウェブページのアップロードシステム等に関し、より詳細には、アップロード先を直接指定することなく、編集されたウェブページを容易にアップロードすることが可能なウェブページのアップロードシステム、当該システムを実現するためのコンピュータプログラム、および当該コンピュータプログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

HTML等により作成されたウェブコンテンツをウェブサーバ上にアップロードする従来の方法は次の通りである。まずウェブページ編集用ソフトウェアツール（以下、ウェブ編集ソフトという）を利用してウェブコンテンツを作成し、これをクライアントのローカルハードディスクに保存する。次に、そのウェブコンテンツをウェブサーバにアップロードするため、FTPソフトやウェブ編集ソフト内のFTPツールを起動する。

【0003】

さらに、FTPツールの操作により、アップロード対象となるウェブコンテンツの保存場所（ローカルハードディスク内）を指定し、さらにウェブコンテンツのアップロード先（ウェブサーバ上）を指定した後、ファイル転送を実行すると、ウェブサーバ上の所定のフォルダ内にウェブコンテンツがアップロードされる。

以上の手順により、ウェブコンテンツがウェブサーバ上にアップデートされる。

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、上述した従来のアップロード方法では、以下の点が問題となる。

【0005】

まず、ウェブコンテンツをウェブサーバに初めてアップロードするときには、アップロード先を指定する必要があるが、ウェブサーバ上の場所を直接指定しなければならなかった。例えば、ウェブサーバ上に確保された場所を示すURL（Uniform Resource Locator）が「http://www.abc.ne.jp/~yama」で表され、この場所をウェブコンテンツのアップロード先とする場合には、この文字列をFTPツール上で設定する必要があった。この場合、閲覧者がどのようなメニューやリンクをたどっていけば作成したウェブページを見られるのか、ウェブコンテンツの作成者が想像するしかなく、直感的に分かりにくかった。

【0006】

また、一度アップロードされたものを修正するときも、新規にアップロードするときと同じようにアップロード先を指定しなけりばならなかつた。すでに一度はアップロードしたウェブコンテンツの修正であるにもかかわらず、その都度アップロード先を指定しなけりばならないというのは、ユーザにとって非常に面倒である。

【0007】

また、ウェブコンテンツがローカルハードディスクに一旦保存されるため、ウェブコンテンツを編集するパソコンを交えるには、リムーバブルメディアに作りかけのウェブコンテンツを記録するなどして、他のパソコンに移さなけりばならなかつた。

【0008】

さらに、自分がアップロードすることができる場所がコンテンツごとに区別されている場合には、いずれの場所をアップロード先とするのかをいちいち指定しなけりばならず、非常に面倒であつた。しかもアップロード先の指定を間違えやすいという問題があつた。

【0009】

したがって、本発明の目的は、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易なウェブページのアップロードシステム、当該システムを実現するためのコンピュータプログラム、および当該コンピュータプログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明のかかる目的は、ウェブページのアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムであつて、前記クライアントが、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所をアップロード先として記憶する機能を備えたことを特徴とするウェブページのアップロードシステムによって達成される。

【0011】

本発明によれば、ウェブページが置かれている場所をアップロード先として自動的に取得し、アップロードするときはその場所へ自動的にアップロードされるので、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易なウェブページのアップロードシステムを提供することができる。

【0012】

本発明の前記目的はまた、ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムであって、前記クライアントが、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、ウェブページ編集用ソフトウェアツールが起動されたとき、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を備えたことを特徴とするウェブページのアップロードシステムによって達成される。

【0013】

本発明によれば、ウェブページを閲覧している状態から、ウェブ編集ツールが起動されると、当該ウェブページが置かれている場所をアップロード先として自動的に取得し、編集が終わってこれをアップロードすると、編集されたウェブページがその場所へ自動的にアップロードされるので、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易なウェブページのアップロードシステムを提供することができる。

【0014】

本発明の好ましい実施形態においては、前記クライアントが、閲覧されているウェブページの日データを取得する機能を備え、当該ウェブページを前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集させる。

【0015】

本発明の好ましい実施形態によれば、ウェブページを閲覧している状態から、ウェブ編集ツールを起動すると、自動的にそのページがダウンロードされてウェブ編集モードとなり、さらに編集が終わってこれをアップロードすると、自動的にその記憶された場所へアップロードされるので、ウェブページの編集およびアップロードがいっそう容易となる。

【0016】

本発明の前記目的はまた、ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムであって、前記クライアントが、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、当該ウェブページ上に設けられたリンク手段が選択されたとき、ウェブページ編集用ソフトウェアツールを起動する機能と、かつ前記リンク手段のリンク先となるウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を備えたことを特徴とするウェブページのアップロードシステムによって達成される。

【0017】

本発明によれば、リンク手段を選択することによってウェブ編集ツールが起動されると、当該リンク手段のリンク先をアップロード先として自動的に取得し、編集が終わってこれをアップロードすると、編集されたウェブページがその場所へ自動的にアップロードされるので、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易なウェブページのアップロードシステムが提供することができる。

【0018】

本発明の好ましい実施形態においては、前記クライアントが、前記リンク先のウェブページのデータを取得する機能を備え、当該ウェブページを前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集させる。

【0019】

本発明の好ましい実施形態によれば、ウェブページを閲覧している状態から、ウェブ編集ツールを起動すると、自動的にリンク手段のリンク先のページがダウンロードされてウェブ編集モードとなり、さらに編集が終わってこれをアップロードすると、自動的にその記憶された場所へアップロードされるので、ウェブページの編集およびアップロードがいっそう容易となる。

【0020】

本発明のさらに好ましい実施形態においては、前記ウェブサーバが、各ユーザについてウェブページの編集権限が登録されたリストを備え、前記リンク手段が、前記編集権限のあるウェブページにリンクされるリンク手段のみからなる。

【0021】

本発明のさらに好ましい実施形態によれば、クライアントを利用するユーザごとにウェブページの編集権限が異なることを考慮して、ウェブページの編集権限に基づいて、当該ウェブページへのアクセスを制限し、ユーザごとに編集権限のあるウェブページについてのみウェブページ編集用ソフトウェアツールが起動されるようにしたので、ユーザが自己の編集権限を意識することなく編集作業を行うことができ、編集権限のあるウェブページを混乱なく選択することができる。

【0022】

本発明のさらに好ましい実施形態においては、前記クライアントが、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって前記ウェブページの編集が開始された後であってアップロードされる前に、当該ウェブページをテンポラリファイルとして前記ウェブサーバ上の場所に保存する機能を備えている。

【0023】

本発明のさらに好ましい実施形態によれば、ローカルに保存するのではなく、ウェブサーバ上の所定の場所に保存するので、ネットワークに接続されたどのクライアントからでも、ログインさえできれば編集可能となり、ウェブページの編集およびアップロードがいっそう容易となる。

【0024】

本発明の前記目的はまた、ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネット

ワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、ウェブページ編集用ソフトウェアツールが起動されたとき、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所を記憶させる機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させることを特徴とするコンピュータプログラムによって達成される。

【0025】

本発明によれば、ウェブページを閲覧している状態から、ウェブ編集ツールが起動されると、当該ウェブページが置かれている場所をアップロード先として自動的に取得し、編集が終わってこれをアップロードすると、編集されたウェブページがその場所へ自動的にアップロードされるので、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易となるコンピュータプログラムを提供することができる。

【0026】

本発明の前記目的はまた、ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、当該ウェブページ上に設けられたリンク手段が選択されたとき、ウェブページ編集用ソフトウェアツールを起動する機能と、かつ前記リンク手段のリンク先となるウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させることを特徴とするコンピュータプログラムによって達成される。

【0027】

本発明によれば、リンク手段を選択することによってウェブ編集ツールが起動

されると、当該リンク手段のリンク先をアップロード先として自動的に取得し、編集が終わってこれをアップロードすると、編集されたウェブページがその場所へ自動的にアップロードされるので、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易となるコンピュータプログラムを提供することができる。

【0028】

本発明の前記目的はまた、ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、前記ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で、ウェブページ編集用ソフトウェアツールが起動されたとき、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所を記憶させる機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させるためのコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読取可能な記録媒体によって達成される。

【0029】

本発明によれば、ウェブページを閲覧している状態から、ウェブ編集ツールが起動されると、当該ウェブページが置かれている場所をアップロード先として自動的に取得し、編集が終わってこれをアップロードすると、編集されたウェブページがその場所へ自動的にアップロードされるので、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易となるコンピュータプログラムを提供することができる。

【0030】

本発明の前記目的はまた、ウェブページの閲覧、編集およびアップロードを行うためのソフトウェアツールを備えたクライアントとウェブサーバが通信ネットワークを介して接続され、前記クライアントから前記ウェブサーバへウェブページをアップロードするシステムにおける前記クライアントに、前記ウェブサーバ

上のウェブページを閲覧している状態で、当該ウェブページ上に設けられたリンク手段が選択されたとき、ウェブページ編集用ソフトウェアツールを起動する機能と、かつ前記リンク手段のリンク先となるウェブサーバ上の場所を記憶する機能と、前記ウェブページ編集用ソフトウェアツールによって編集されたウェブページをアップロードするとき、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする機能を実現させるためのコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読取可能な記録媒体によって達成される。

【0031】

本発明によれば、リンク手段を選択することによってウェブ編集ツールが起動されると、当該リンク手段のリンク先をアップロード先として自動的に取得し、編集が終わってこれをアップロードすると、編集されたウェブページがその場所へ自動的にアップロードされるので、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易となるコンピュータプログラムを提供することができる。

【0032】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照しながら、本発明の好ましい実施形態について詳細に説明する。

【0033】

図1は、本発明の好ましい実施形態にかかるウェブページのアップロード方法が適用される、クライアントサーバシステムの概略構成を示す図である。

【0034】

図1に示されるように、このシステムは、ウェブサーバ101と、複数のクライアント102がLANやインターネットといった通信ネットワーク103に接続された構成を有する。ウェブサーバ101は、ウェブコンテンツのデータベースを備えたパーソナルコンピュータやワークステーションである。一方、クライアント102はウェブブラウジング機能やウェブ編集機能を備えたパーソナルコンピュータである。

【0035】

図2は、ウェブサーバ101およびクライアント102のハードウェア構成を示す略ブロック図である。

【0036】

ウェブサーバ101およびクライアント102はともにコンピュータであることから、その基本的な構成は同じである。したがって図2に示されるように、サーバ101およびクライアント102は、CPU201と、メモリ202と、ハードディスクドライブ(HDD)203と、フレキシブルディスク、CD-ROM、CD-R、DVD-ROM等の記録媒体を再生あるいは記録再生が可能なりムーバブルディスクドライブ(RDD)204と、入出力インターフェース205と、ネットワークアダプタ206を備え、これらがバス207を介して接続された構成を有する。サーバ101およびクライアント102は、入出力インターフェース205を介してディスプレイ208、キーボード209、マウス210等と接続され、ネットワークアダプタ206を介して通信ネットワーク103に接続される。

【0037】

図3は、ウェブサーバ101のソフトウェア構成を示す図である。

【0038】

図3に示されるように、ウェブサーバ101は、デバイスドライバ301と、オペレーティングシステム302と、アプリケーションソフト303を備えている。アプリケーションソフト303としては、ウェブサーバソフト304やFTPソフト305がインストールされる。ウェブサーバソフト304の機能により、クライアントからの要求に応じてサーバ内に蓄積されたウェブコンテンツを送信したり、スクリプトを起動したりする。また、FTPソフト305の機能により、ウェブページのアップロードを受け付ける。その他、各種のアプリケーションソフトがインストールされていても構わない。

【0039】

また、ウェブサーバ101は、提供するウェブコンテンツのデータベース306や、クライアントからのログインを受け付けるため、ユーザ名およびパスワードを含むユーザリスト307を備えている。

【0040】

図4は、クライアント102のソフトウェア構成を示す図である。

【0041】

図4に示されるように、クライアント102はいずれも、デバイスドライバ401と、オペレーティングシステム(OS)402と、アプリケーションソフト403を備えている。アプリケーションソフト403としては、ウェブページの閲覧機能を実現するウェブブラウザ404や、ウェブページ編集機能を実現するウェブ編集ソフト405を有し、さらにウェブ編集ソフトには、FTP機能を実現するソフトウェアツール406が含まれている。これらのソフトウェアにより、ウェブページの閲覧、編集およびアップロードの機能が実現される。

【0042】

ウェブサーバ101やクライアント102の各機能は、対応するソフトウェアがコンピュータのハードディスクドライブ203にインストールされ、コンピュータの起動時にあるいはソフトウェアの実行時にハードディスクドライブ203からメモリ202に読み込まれ、CPU201がこれを順次処理することによって実現される。

【0043】

これらのソフトウェアは、例えばCD-ROM等の記録媒体に記録された状態で供給される。その記録媒体をリムーバブルディスクドライブ204にセットして、インストール作業を行うことにより、ソフトウェアがハードディスクドライブ203に保存され、インストールされる。また、インターネット経由でダウンロードされてもよい。この場合、ソフトウェアがネットワークアダプタ206を介してダウンロードされ、インストールされる。

【0044】

図5は、第1の実施形態にかかるウェブページのアップロード手順を示すフローチャートである。

【0045】

図5に示されるように、ユーザはまず、ウェブブラウザを起動して、編集対象のウェブページを閲覧する(S501)。次いで、このウェブページが閲覧され

ている状態で、ウェブ編集ソフトを起動する（S502）。ウェブ編集ソフトの起動は、ウェブブラウザの操作画面に設けられたアイコンボタンをクリックすることによって行われる。

【0046】

ウェブ編集ソフトが起動されると、まずアップロード先のURLおよび編集対象のウェブページの取得が行われる（S503、S504）。これらのデータの取得は、編集対象のウェブページをウェブブラウザで閲覧している状態であれば、そのウェブページのURLや、そのウェブページを構成するHTMLファイルや画像ファイルがウェブブラウザにキャッシュされているので、当該ウェブブラウザから取得することができる。

【0047】

ウェブブラウザから取り出されたURLは、後に行われるウェブ編集モードで編集される編集済みウェブページのアップロード先として設定される（S505）。一方、ウェブブラウザから取り出されたHTMLファイル等の編集対象となるウェブページ的数据は、ウェブ編集ソフトの編集画面に表示され、ウェブ編集モードに入る（S506）。ユーザはこの編集画面上でウェブページを編集することができる。

【0048】

ユーザがウェブページを編集した後、ウェブ編集ソフトに組み込まれたFTPツールを用いてアップロードを実行すると（S507）、ステップS505でアップロード先として設定されたURLへウェブページがアップロードされる（S508）。したがって、ウェブページの閲覧中に編集対象のウェブページを編集しようとしてウェブ編集ソフトの起動をユーザが指示するという操作によりアップロード先の指定が済んでいるので、アップロード先をユーザがいちいち指定することなく、簡単な操作によりウェブページをアップロードすることができる。

【0049】

アップロードされているウェブページを編集するのではなく、ウェブページを新しく追加する場合には、次のようにすればよい。

【0050】

すなわち、ユーザはまず、ウェブブラウザを起動して、新しいウェブページを保存しようとしているディレクトリと同一ディレクトリにあるウェブページを閲覧する。この状態で、ウェブ編集ソフトを起動する。ウェブ編集ソフトが起動されると、まずアップロード先のURLおよび編集対象のウェブページの取得が行われる。

【0051】

ここで、URLについては実質的に同一のアップロード先となるため、特に修正することなくそのまま設定情報を使える。ウェブページについては、直接関係のないウェブページが編集画面に表示されることになるが、これをクリアし、ウェブページの新規作成を行って、白紙のウェブページあるいはテンプレートの編集を開始すれば、特に問題なく新しいウェブページを作成することができる。

【0052】

このように、ウェブページを新規作成する場合であっても、アップロード先をユーザがいちいち指定することなく、簡単な操作によりウェブページをアップロードすることができる。

【0053】

(ウェブ編集をリンクボタンから行う場合)

図6は、第2の実施形態にかかるウェブページのアップロード手順を示すフローチャートである。

【0054】

この実施形態は、編集対象のウェブページにリンクが張られた他のウェブページを閲覧している状態で、リンクボタンをクリックすることで、編集対象のウェブページの編集が実行される場合を示している。

【0055】

図6に示されるように、ユーザはまず、ウェブブラウザを起動して、編集対象のウェブページとリンクするリンクボタンが設けられた所定のウェブページを閲覧する(S601)。次いで、このウェブページ上に設けられた所定のリンクボタンをクリックすると(S602)、リンクボタンに埋め込まれたスクリプトが実行されてウェブ編集ソフトが自動的に起動される(S603)。

【0056】

ウェブ編集ソフトが起動されると、まずアップロード先のURLおよび編集対象のウェブページの取得が行われる（S604、S605）。これらのデータの取得は、編集対象のウェブページとリンクしたリンクボタンをクリックしたことによって、編集対象のウェブページへジャンプし、そのウェブページのURLや、そのウェブページを構成するHTMLファイルや画像ファイルがウェブブラウザにキャッシュされることになるので、当該ウェブブラウザから取得することができる。

【0057】

ウェブブラウザから取り出されたURLは、ウェブ編集ソフトに組み込まれたFTPツールにおいて、後に行われるウェブ編集モードで編集される編集済みウェブページのアップロード先として設定される（S606）。一方、ウェブブラウザから取り出されたHTMLファイル等の編集対象となるウェブページの詳細は、ウェブ編集ソフトの編集画面に表示され、ウェブ編集モードに入る（S607）。ユーザはこの編集画面上でウェブページを編集することができる。

【0058】

ユーザがウェブページを編集した後、ウェブ編集ソフトのFTPツールを用いてアップロードを実行すると（S608）、アップロード先として設定されたURLへウェブページがアップロードされる（S609）。したがって、アップロード先をいちいち指定することなく、簡単な操作によりウェブページをアップロードすることができる。

【0059】

図5および図6に示したウェブページのアップロードは、ウェブページを改変する権限があるユーザのみが行うことができるようにすることが好ましい。そのような権限の有無を判別するためには、まずユーザをウェブサイトにログインさせ、そのユーザが改変可能なウェブサイトについてのみウェブページの編集およびアップロードが行われるようにすることが必要である。また、一つのウェブサイトで複数のコンテンツが提供されるため、コンテンツごとにディレクトリを分けている場合には、そのコンテンツに応じてアップロード先が設定されることが

好ましい。以下、クライアント側の画面表示例を通じて、そのような第2の実施形態を説明する。

【0060】

図7は、上述したウェブページのアップロード方法において、クライアント側に表示されるログイン画面の一例を示す図である。

【0061】

クライアントがウェブブラウザを起動した後、例えばURL「http://www.abc.ne.jp/」のウェブサイトアクセスすると、まずウェブサーバは、当初のURLとは別のURLへジャンプさせ、クライアントに対してログイン画面を提供する。このときのURLは、例えば「http://www.abc.ne.jp/login.htm」で表される。

【0062】

図7に示されるように、このログイン画面には、ユーザ名入力用テキストボックス701と、パスワード入力用テキストボックス702が表示される。ユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタン703をクリックすると、それらがウェブサーバへ送られる。ウェブサーバ側では、ユーザ名およびパスワードの認証を行った後、ログインを許可する。

【0063】

図8は、ログイン後のメインメニュー画面の一例を示す図である。

【0064】

図8に示されるように、このときのURLは、例えば「http://www.abc.ne.jp/menu.htm」で表され、メインメニュー画面には、「掲示板」や「各ユーザのホームページ」などの各種コンテンツを選択するためのリンクボタン801が表示される。ユーザがいずれかのボタンをクリックすることで、各コンテンツのウェブページが表示される。例えば、「掲示板」ボタン801aをクリックすると、掲示板のメイン画面が表示され、「各ユーザのホームページ」ボタン801bをクリックすると、ホームページのメイン画面が表示される。

【0065】

図9は、このウェブサイトで提供されるコンテンツの一つである掲示板のリス

ト画面の一例を示す図である。

【0066】

図9に示されるように、このときのURLは、例えば「http://www.abc.ne.jp/keijiban/list.htm」で表され、掲示板のメイン画面には、多くのユーザによって書き込まれた掲示内容のリスト901が表示される。これらの各タイトル902をクリックすることで、その掲示内容を見ることができる。

【0067】

また、リスト画面には、掲示内容新規作成するための「新規作成」ボタン903が設けられており、このボタンをクリックすることで、新しい掲示内容を作成することができる。さらに、ユーザが自分で作成した掲示内容についてはその編集および削除が可能であり、編集および削除ができる掲示内容がある場合には、そのタイトルの横に、「編集」ボタン904および「削除」ボタン905も併せて表示される。編集権限がないものについては、これらのボタンは表示されない。「編集」ボタン904をクリックすることで、対応する掲示内容を編集することができ、また「削除」ボタン905をクリックすることで、対応する掲示内容を削除することができる。

【0068】

図10は、リスト中のタイトルの一つをクリックすることにより表示される掲示内容の一例を示す図である。

【0069】

図10に示されるように、このときのURLは、例えば「http://www.abc.ne.jp/keijiban/~user1/page1.htm」で表され、掲示板の画面には、ユーザ名「user1」というユーザが作成した掲示内容1001が掲載される。

【0070】

図9に示した掲示板のメイン画面において、掲示内容を編集するための「編集」ボタン904がクリックされると、それに埋め込まれたスクリプトが実行されてウェブ編集ソフトが起動する。ウェブ編集ソフトはまず、ウェブブラウザから、ウェブページのURLおよび掲示内容のHTMLファイル等を取得する。

【0071】

これらのデータの取得は、図10に示した掲示内容1001のウェブページとリンクした編集ボタンをクリックしたことによって、そのウェブページのURLや、そのウェブページを構成するHTMLファイルや画像ファイルがウェブブラウザにキャッシュされるので、当該ウェブブラウザから取得することができる。

【0072】

取得されたURLは、ウェブ編集ソフトに組み込まれたFTPツールにおいて、編集済みウェブページのアップロード先として設定される。一方、HTMLファイル等の編集対象となるウェブページのデータは、ウェブ編集ソフトの編集画面に表示され、ウェブ編集モードに入る。ウェブ編集モードにおいて、ユーザがウェブページを編集した後、そのアップロードを実行すると、前記URLからウェブページのアップロード先を特定し、このアップロード先へウェブページをアップロードする。

【0073】

このように、ログイン時にユーザ名およびパスワードを取得し、これらに基づいて、ユーザに編集権限があるものについてのみ、ウェブ編集ソフトが起動するようにしたので、ウェブページにアクセス権限があるものだけに編集させることができる。また、ログイン後にウェブ編集ツールが起動されると、自動的にそのページがダウンロードされて編集モードとなり、さらに編集が終わってこれをアップロードすると、自動的にその記憶された場所へアップロードされるので、いちいちアップロード先の場所を指定し直す煩わしさがなくなる。したがって、ウェブページをメンテナンスするのに最適なツールを提供できる。

【0074】

図9に示した掲示板のメイン画面において、掲示内容1001を新規作成するための「新規作成」ボタン903がクリックされると、それに埋め込まれたスク립トが実行されて、ウェブ編集ソフトが起動する。ウェブ編集ソフトはまず、新規作成ボタンに埋め込まれたURLおよびログイン時のユーザ名に基づいて、新たなURLを作成する。例えば、埋め込まれたURL「http://www.abc.ne.jp/keijiban/」とユーザ名「user1」から、URL「http://www.abc.ne.jp/keijiban/~user1/」がアップロード先として特定される。

【0075】

この新たに作成されたURLは、ウェブ編集ソフトに組み込まれたFTPツールにおいて、新規作成される掲示内容のウェブページのアップロード先として設定される。

【0076】

一方、ウェブ編集ソフトは、白紙のウェブページを編集画面に表示するか、あるいはテンプレートファイル集から所望のテンプレートファイルを選択させて、ウェブ編集モードに入る。ウェブ編集モードにおいて、ユーザがウェブページを編集した後、そのアップロードを実行すると、前記URLからウェブページのアップロード先を特定し、このアップロード先へウェブページをアップロードする。

【0077】

このように、これから自分が新しいウェブページを入れたい場所でウェブ編集ツールを起動すると、当該ツールが一旦その場所を記憶し、ウェブページ作成後にこれをアップロードすると、自動的にその記憶された場所へアップロードされるので、何ページにもわたり、階層構造をもち、複雑なリンクで構成されているウェブページであっても、自分のウェブページが全体の中でどこに入るのか、どんなメニューをたどっていけばそのページまでたどり着けるのかが事前に直感的によく分かる。したがって、ウェブページをメンテナンスするのに最適なツールを提供できる。

【0078】

本発明は、以上の実施態様に限定されることなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲内で種々の変更が可能であり、それらも本発明の範囲内に包含されるものであることはいうまでもない。

【0079】

例えば、前記実施形態において、編集途中のウェブページはクライアント側のローカルハードディスクに保存され、アップロードを実行して初めてウェブサーバ内に保存されるが、編集途中のウェブページをテンポラリファイルとしてウェブサーバ内に保存しても構わない。このようにすれば、リムーバブルディスクを

使用してテンポラリファイルを他のクライアントに移し変えることなく、どのクライアントからでもウェブページスペース上のファイルに直接アクセスし、編集を行うことができる。この場合、編集済みのウェブページが実際にアップロードされるウェブサーバ上の場所を一次保存領域としてもよく、または、これとは別に専用の一次保存領域を確保してもよい。

【0080】

また、前記実施形態においては、ウェブページがHTMLによって構成されている場合を説明したが、これに限定されるものではなく、SGML、XML等、どのような言語によって作成されていてもよい。

【0081】

さらにまた、前記実施形態においては、ウェブページを閲覧するためのウェブブラウザと、ウェブページの編集およびアップロードを行うためのウェブ編集ソフトという2つのソフトウェアがインストールされ、ウェブ編集ソフトにFTPツールが組み込まれている場合を説明したが、これに限定されるものではなく、機能ごとにそれぞれ独立したソフトウェアであってもよく、3つの機能が統合された1つのソフトウェアであってもよい。

【0082】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易なウェブページのアップロードシステム、当該システムを実現するためのコンピュータプログラム、および当該コンピュータプログラムを記録した記録媒体を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

図1は、本発明の好ましい実施形態にかかるウェブページのアップロード方法が適用される、クライアントサーバシステムの概略構成を示す図である。

【図2】

図2は、ウェブサーバ101およびクライアント102のハードウェア構成を

示す略ブロック図である。

【図 3】

図 3 は、ウェブサーバ 101 のソフトウェア構成を示す図である。

【図 4】

図 4 は、クライアント 102 のソフトウェア構成を示す図である。

【図 5】

図 5 は、第 1 の実施形態にかかるウェブページのアップロード手順を示すフローチャートである。

【図 6】

図 6 は、第 2 の実施形態にかかるウェブページのアップロード手順を示すフローチャートである。

【図 7】

図 7 は、上述したウェブページのアップロード方法において、クライアント側に表示されるログイン画面の一例を示す図である。

【図 8】

図 8 は、ログイン後のメインメニュー画面の一例を示す図である。

【図 9】

図 9 は、このウェブサイトで提供されるコンテンツの一つである掲示板のリスト画面の一例を示す図である。

【図 10】

図 10 は、リスト中のタイトルの一つをクリックすることにより表示される掲示内容の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 101 ウェブサーバ
- 102 クライアント
- 103 通信ネットワーク
- 201 CPU
- 202 メモリ
- 203 ハードディスクドライブ (HDD)

- 204 リムーバブルディスクドライブ (RDD)
- 205 入出力インターフェース
- 206 ネットワークアダプタ
- 207 バス
- 208 ディスプレイ
- 209 キーボード
- 210 マウス
- 301 デバイスドライバ
- 302 オペレーティングシステム
- 303 アプリケーションソフト
- 304 ウェブサーバソフト
- 305 FTPソフト
- 306 ウェブコンテンツのデータベース
- 307 ユーザリスト
- 401 デバイスドライバ
- 402 オペレーティングシステム (OS)
- 403 アプリケーションソフト
- 404 ウェブブラウザ
- 405 ウェブ編集ソフト
- 406 FTPツール
- 701 ユーザ名入力用テキストボックス
- 702 パスワード入力用テキストボックス
- 703 「OK」ボタン
- 801 リンクボタン
- 801a 「掲示板」ボタン
- 801b 「各ユーザのホームページ」ボタン
- 901 掲示内容のリスト
- 902 掲示内容の各タイトル
- 903 「新規作成」ボタン

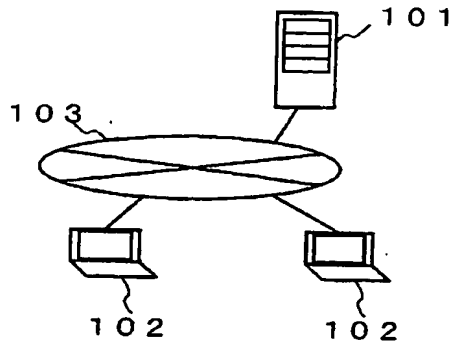
904 「編集」 ボタン

905 「削除」 ボタン

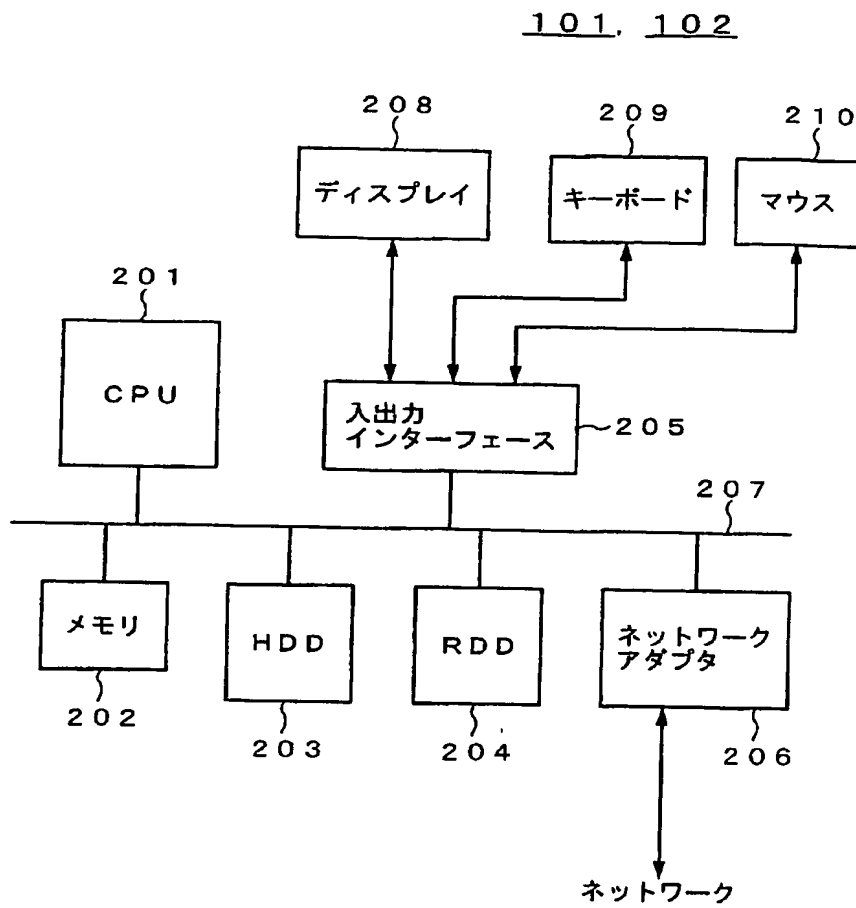
1001 掲示内容

【書類名】 図面

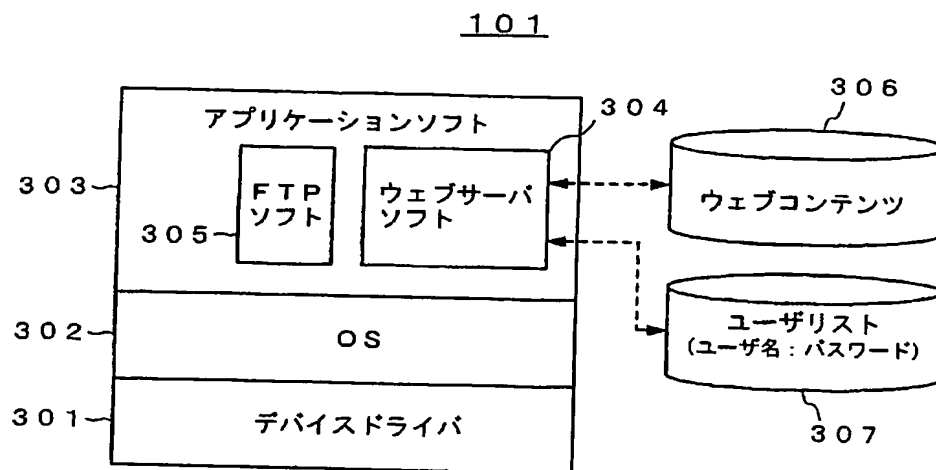
【図 1】



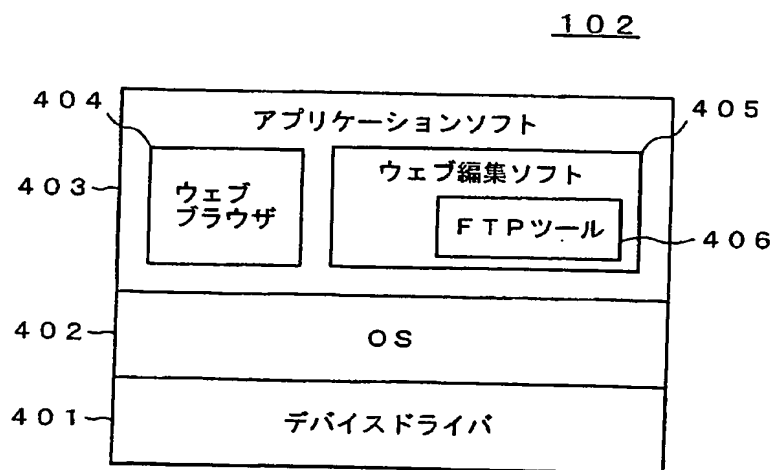
【図 2】



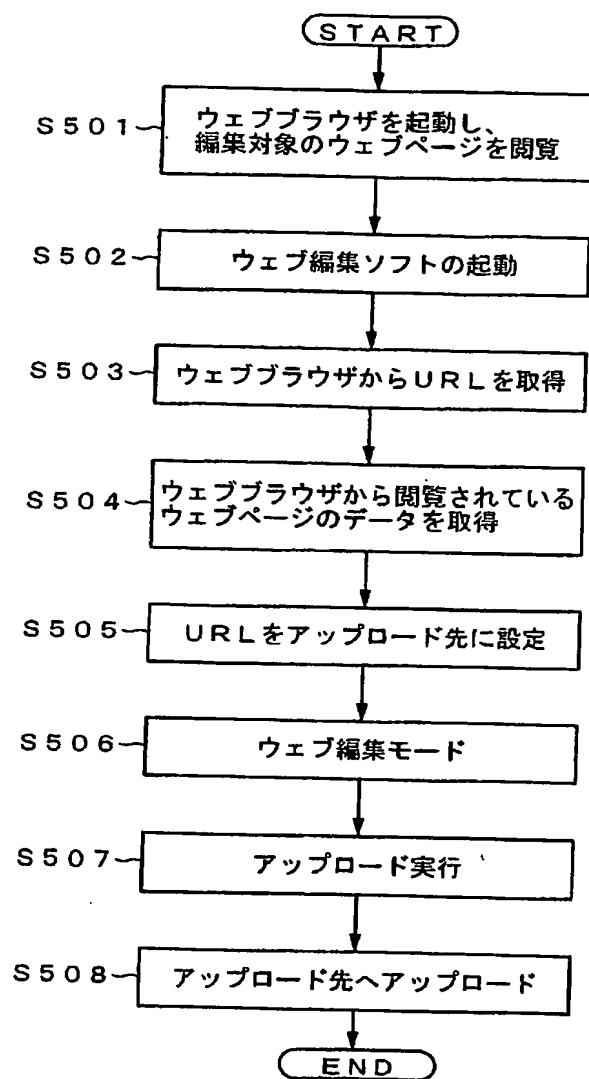
【図 3】



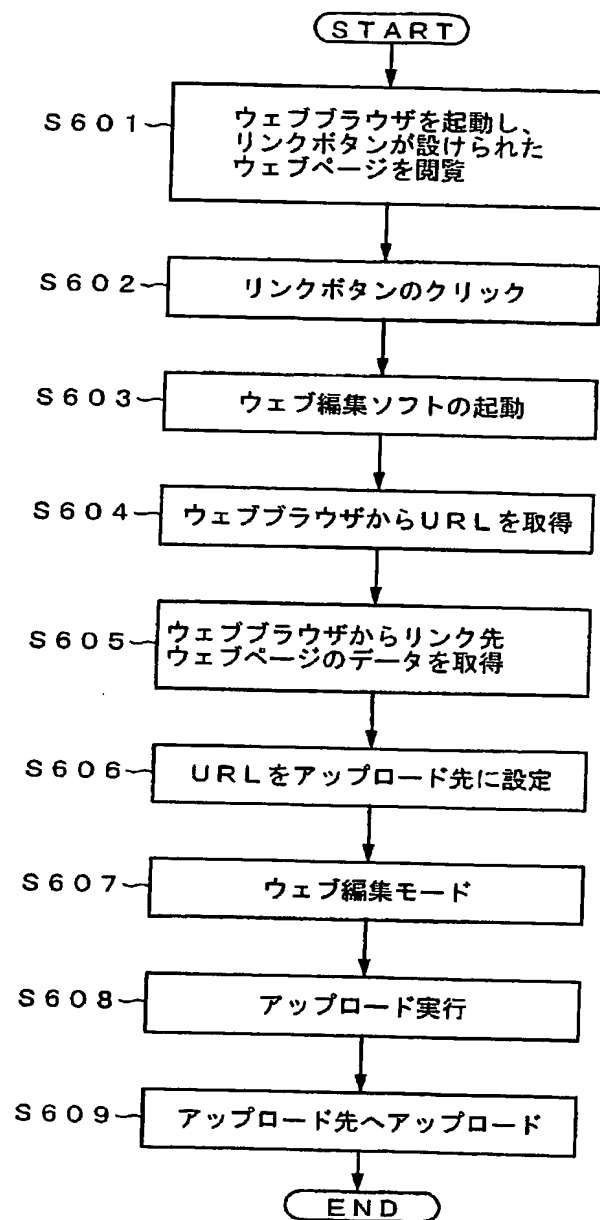
【図 4】



【図 5】



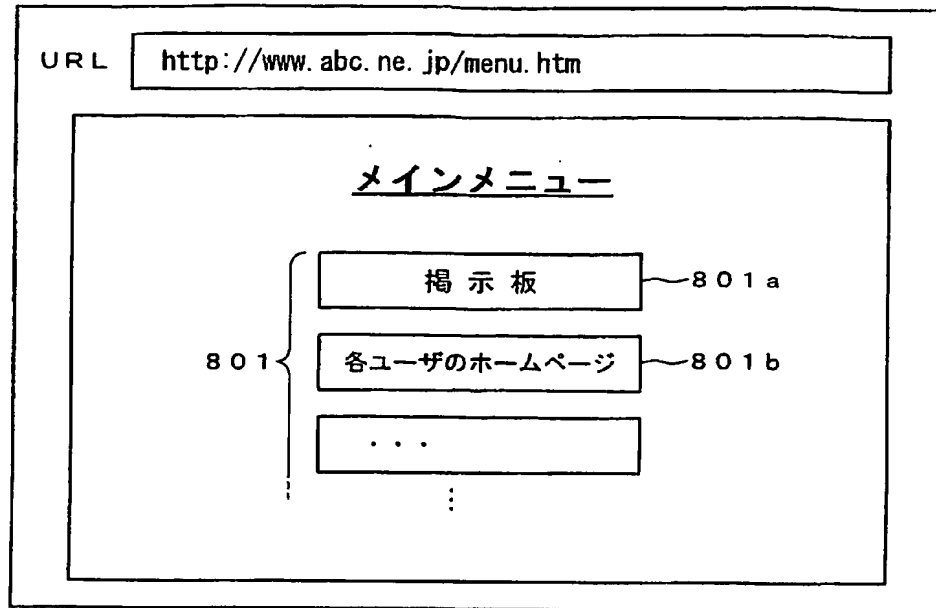
【図 6】



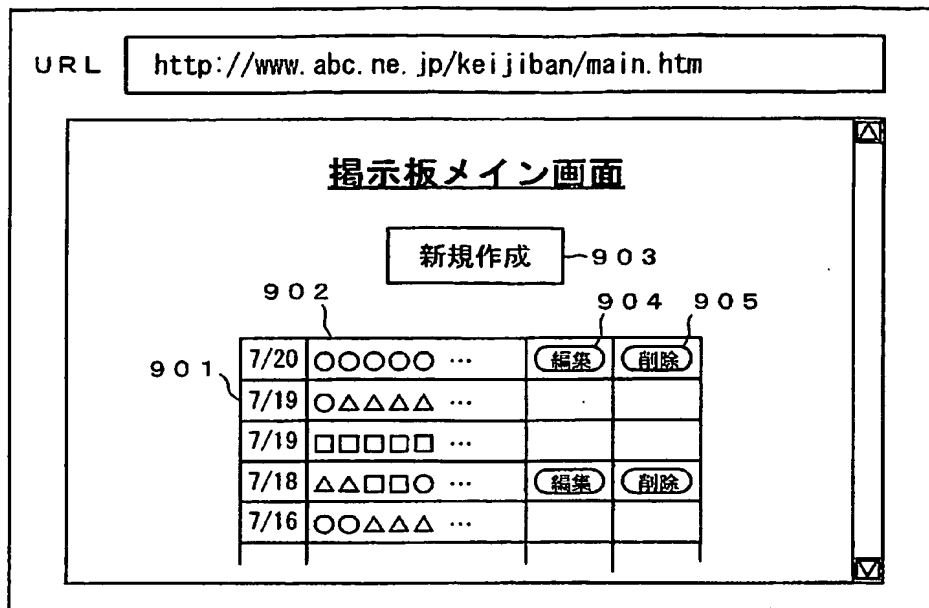
【図 7】

The diagram shows a login form within a rectangular frame. At the top left, the label "URL" is positioned to the left of a rectangular input field containing the text "http://www.abc.ne.jp/login/htm". Below this, the form is divided into two main sections. The first section contains the label "ユーザ名:" followed by a rectangular input field, with the reference numeral "701" to its right. The second section contains the label "パスワード:" followed by another rectangular input field, with the reference numeral "702" to its right. At the bottom of the form, there are two rectangular buttons. The left button contains the text "OK" and is preceded by the reference numeral "703". The right button contains the text "キャンセル".

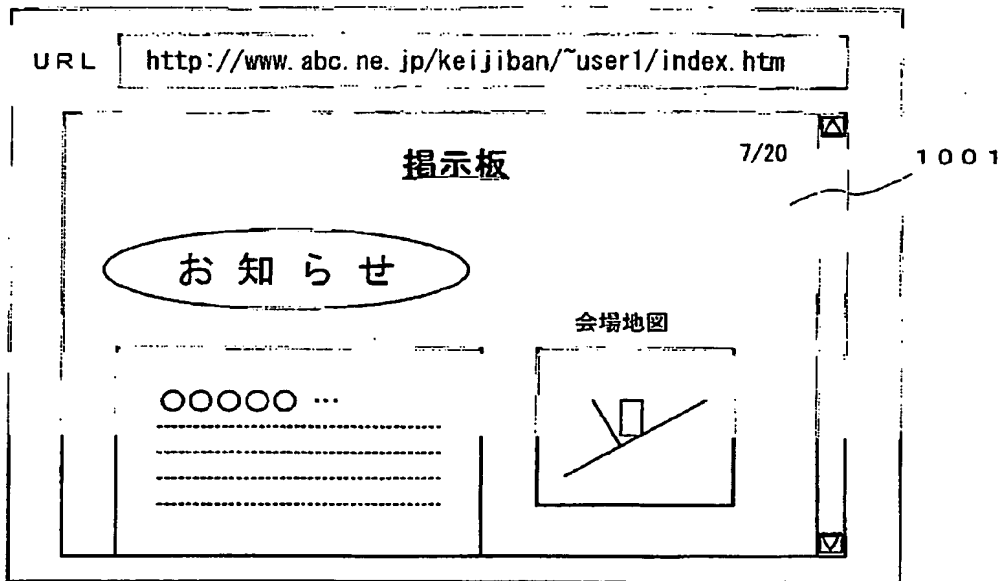
【図 8】



【図 9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 アップロード先をいちいち指定する煩わしさがなく、ウェブページの編集およびアップロードが容易なウェブページのアップロードシステム等を提供する。

【解決手段】 クライアントは、ウェブサーバ上のウェブページを閲覧している状態で（S501）、ウェブ編集ソフトが起動されたとき（S502）、前記ウェブページが保存されている前記ウェブサーバ上の場所をおよびウェブページのデータを取得し（S503、S504）、前記ウェブ編集ソフトによって編集されたウェブページをアップロードするとき（S507）、前記記憶されたウェブサーバ上の場所へアップロードする（S508）。

【選択図】 図5

特願 2002-228201

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000003067]

1. 変更年月日

1990年 8月30日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都中央区日本橋1丁目13番1号

氏 名

ティーディーケイ株式会社

2. 変更年月日

2003年 6月27日

[変更理由]

名称変更

住 所

東京都中央区日本橋1丁目13番1号

氏 名

TDK株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.